



出発式で激励を受ける山田さん(右)

台湾の火災で医療支援

川崎医大病院・医師山田さん

あすから4日間派遣 出発式で決意

台湾・新北市の遊園地で発生した火災で、負傷者の医療支援をするため、川崎医科大付属病院(倉敷市松島)

救急科・高度救命救急センターの医師山田祥子さん(35)が日本医師会の要請を受けて12、15日の4日間、現地に派遣される。

派遣医師の選任は日本医師会が日本集中治療医学会などに依頼。

山田さんは、学会理事長を務める氏家良人救急科教授が今月2、3日に現地を訪れたのを知り、協力を申し出た。

出発式が10日、川崎医科大付属病院で行われ、園尾博司病院長は「これまで熱傷患者の治療に当たった技術を生かし、国際医療貢献に努めてほしい」と激

励。山田さんは「現地ではやけどの後の感染症が懸念される段階。現場でできることを見つけ、役に立ちたい」と決意を述べた。

台湾での火災は6月27日、イベント中に噴霧したカラーパウダーに引火して発生。約500人がやけどを負った。(萩原聡)